

# 12月定例会 報告

12月2日(金)~12月21日(水)の20日間

# 中島りゅうじ 一般質問

慎重に審査した結果、上程された議案のうち、4議案については反対、その他の議案については賛成、選択的夫婦別姓制度の導入に関する請願については同意、その他の請願については不同意としました。



## デジタル社会と情報アクセシビリティ

### デジタルデバインド対策

**Q.質問** 障がい者をはじめとするデジタルデバインドの対象となり得る方を支援する新技術について、最近の動向をどのように把握しているか?

**A.答弁** ▶ デジタルデバインドの対象となり得る方を支援する具体的な新技術としては、リアルタイム音声認識アプリ、文字やハンドサインが表示される窓口用ディスプレイなど多様になっていると把握している。  
▶ このような技術の情報収集や関係課への展開等を民間企業との意見交換を重ねていく中で継続的に実施していきたいと考える。

### デジタルデバインドとは

情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差、つまり「情報格差」のこと。



### 情報アクセシビリティの取組

**Q.質問** 豊田市では、相互理解と意思疎通に関する条例に基づいた情報アクセシビリティについて、現在の進捗状況はどのようになっているか?

**A.答弁** ▶ 文書作成時においては文字の大きさ、フォント、行間・文字間設定に対する配慮や分かりやすい表現、やさしい日本語等を活用している。  
▶ 伝達手段として、FAXやメールも選択できるように配慮するとともに、行事規模等に応じて、手話通訳者及び要約筆記者を設置するなど対応している。  
▶ 外国人向けとしても、外国人に必要な情報を選択し、わかりやすい内容に変換したり、対象者に応じた言語に翻訳したりするなど対応している。  
▶ 情報提供手段の事業として、市ホームページでの多言語情報の発信や、ごみカレンダーやアプリ等でごみの分別に関する多言語情報の発信を行うなど、幅広く対応している。

**Q.質問** 豊田市として、配慮が必要な方のためにコミュニケーション支援ボードを作成する取組を実施しているが、その取組状況について、現在どのようになっているか?

**A.答弁** ▶ 図書館への設置や選挙の投票時等に活用するとともに、本庁舎受付においても、フロア等を案内するための外国語コミュニケーション支援ボードを設置している。  
▶ 災害時用として避難所への設置や救急車内にも積載するなど、状況に応じて活用している。  
▶ 民間においては、セブンイレブンジャパンと連携したコンビニ版コミュニケーション支援ボードを作成し、現在、市内のセブンイレブン56店舗に設置しているほか、この取組の拡大を進めている。  
▶ 令和4年度は、医療機関や薬局等で活用できるコミュニケーション支援ボードを作成しているところ。

### 豊田市コミュニケーション支援ボード

